

平成27年10月26日

「知財ビジネス評価書」を活用した融資取組みについて ～百五銀行第1号案件～

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）は、鈴鹿エンジニアリング株式会社（四日市市、代表取締役 矢田 龍生）に対して、「知財ビジネス評価書」を融資判断の材料とした融資契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行は、特許庁が行う「知財ビジネス評価書作成支援（裏面のスキーム図を参照）」に参画し、中小企業の保有する知的財産権に着目するなど、お取引先の事業の全体像や強みを理解する営業活動を行ってまいりました。

そのような中、ゴムやプラスチックなどの高粘度混練材料を用いた密閉加圧混練機の開発などに関する権利有効特許を保有する同社について、知財戦略や「知財ビジネス評価書」で評価された経済価値を参考にして、今般の融資を取組みました。

今後も百五銀行は、事業性評価を通じ、金融面での支援を行ってまいります。

なお、本件は、「知財ビジネス評価書」を活用した融資取組みの第1号案件となります。

記

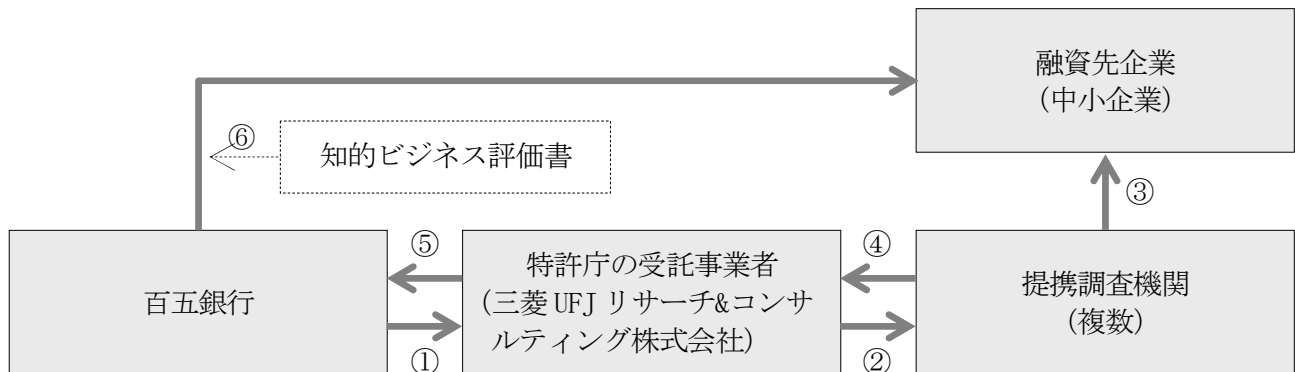
【取組概要】

取引先	四日市市小古曾東2丁目1-65 鈴鹿エンジニアリング株式会社 代表取締役 矢田 龍生 氏
業種	ゴムの混練設備および混練設備周辺機器などの製造・販売
資本金	50 百万円
従業員数	29 名（平成 27 年 3 月現在）
設立	昭和 50 年 11 月
融資契約額	100 百万円
企業概要	ゴム練り工場の自動機械装置の開発・製造事業を手掛け、内外の有力ゴム企業へ多数の生産ラインを納入しています。近年はハード面のみならず、品質管理を目的としたソフトウェアの開発にも事業領域を拡大し、医薬品の製造ラインにも納入実績があります。知財面においては、製品ラインナップと重なる技術領域での国内特許出願のみならず、国際出願も 1980 年代から行ない、早くから海外展開も企図した知財戦略を推進しています。

以上

【ご参考】 知財ビジネス評価書を活用した融資の流れ

(平成 27 年度知財ビジネス評価書作成支援公募要領より弊社作成)



- ① 百五銀行は、特許庁からの受託事業者である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）に取引先である中小企業の「知財ビジネス評価書」の作成を依頼。
- ② MURC は、提携調査機関に対して、評価書の作成を委託。
- ③ 提携調査機関は、評価対象となる企業に訪問・ヒアリングなどを実施。
- ④ 提携調査機関は、③に基づき「知財ビジネス評価書」を作成し、MURC に提出。
- ⑤ MURC は、「知財ビジネス評価書」を百五銀行に送付。
- ⑥ 百五銀行は、「知財ビジネス評価書」をもとに、知的財産を含めた事業性を評価、多面的な把握を行ったうえで、融資可否・スキームについて検討を行う。

※知財ビジネス評価書作成支援について

特許庁が、中小企業の知的財産の価値を「見える化」することで、金融機関からの融資につなげるための取組みである「知財金融促進事業」の一環として開始。

金融機関から申請を受け、融資を検討している中小企業の知的財産を活用したビジネスについての評価書を提携調査会社等が作成し、金融機関に無償で提供されます。